

活動指導案

■基礎データ

実践団体名

ネオシティ大和高田自主防災組織

2009-27

① タイトル

防災意識アンケートを実施する

② 活動の概要

住民に対してアンケートを実施し、防災に対する意識度を知る。また、アンケート自体を一読するだけで防災知識を身につけることができる内容とする

③ 目標・ねらい

①防災に対する意識度を知る
②防災意識の啓発・防災の問題を身近に捉えてもらう

④ 活動で上げることが
できる力・能力

住民の防災意識

⑤ 対象者

マンション全世帯

⑥ 活動・作業形態

マンション全戸配付し、回答ボックスを管理員室前に設置して回収する

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

アンケートを作るための材料(市町村の防災計画書、管理組合防災計画書、マンションのライフライン説明書等)

⑧ 所要時間

①作成に要した時間:会議2H×5(本当はもっとかかっている。各人の宿題やマンション全体の話しあいも含む)、
②実施期間:防災訓練開催日をはさんだ2週間程度、
③回答時間:5分~20分くらい、④結果をまとめて広報する時間

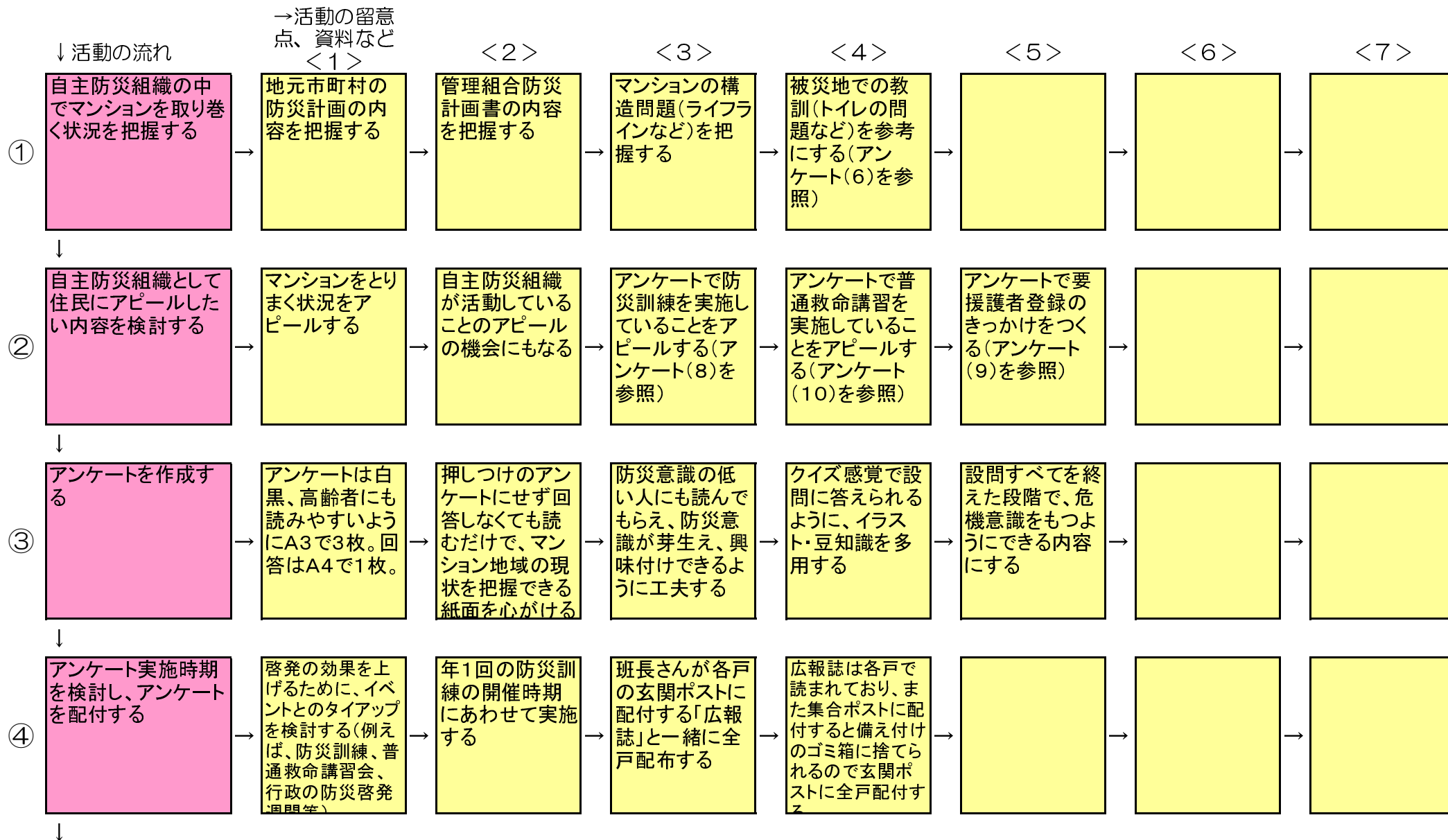
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

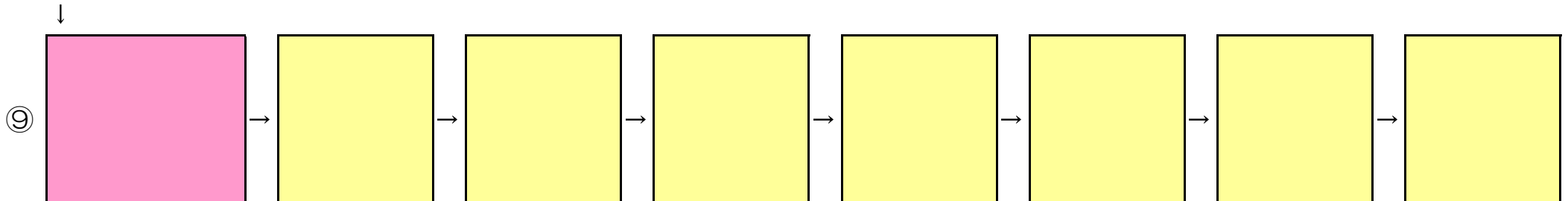
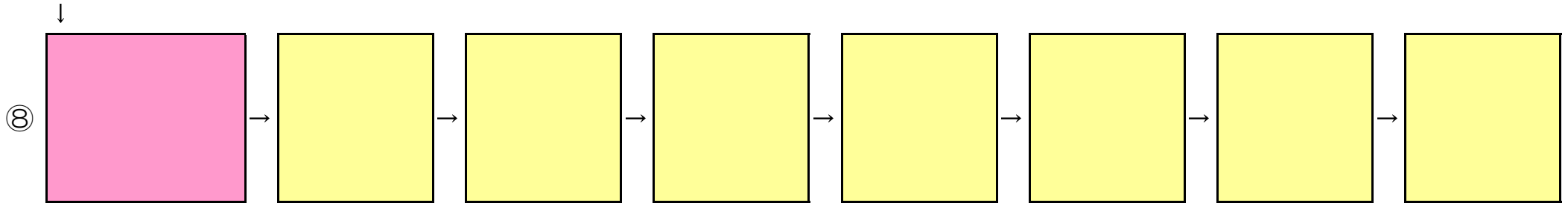
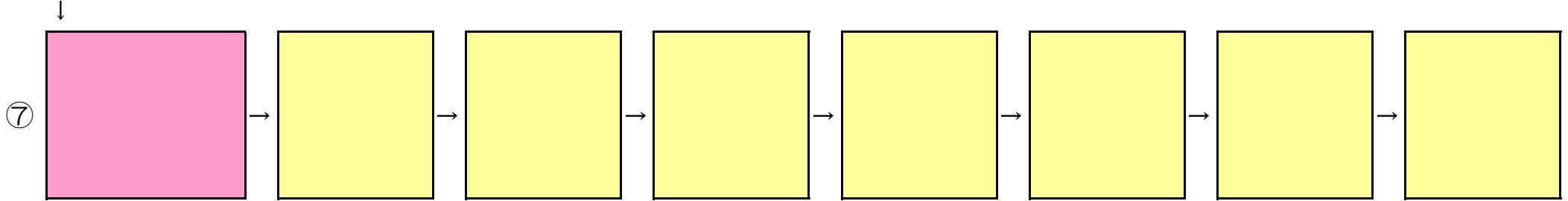
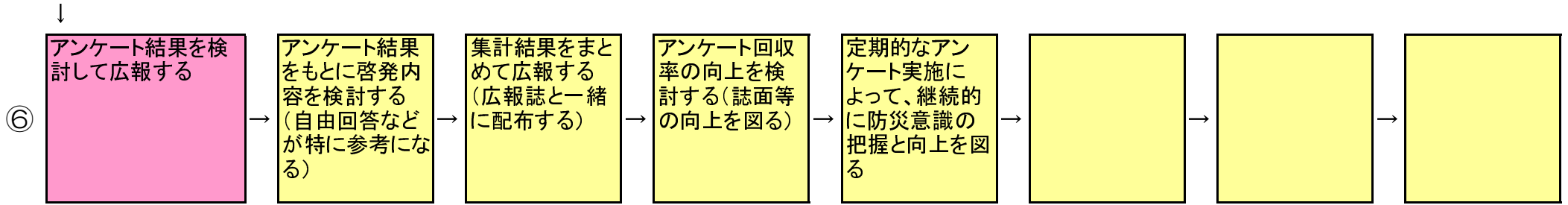
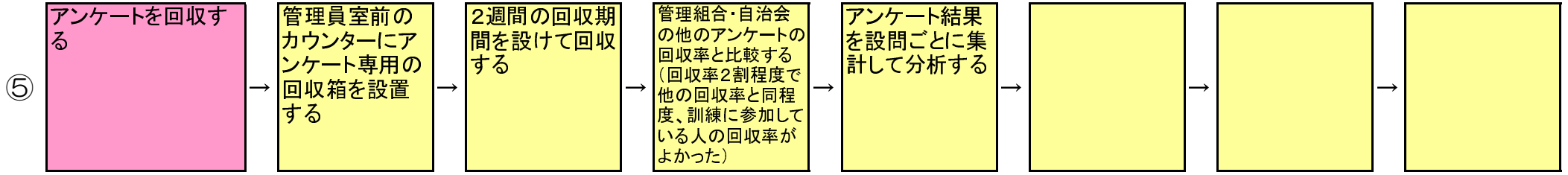
自主防災組織役員、経験者には自主防災組織検討委員になってもらう

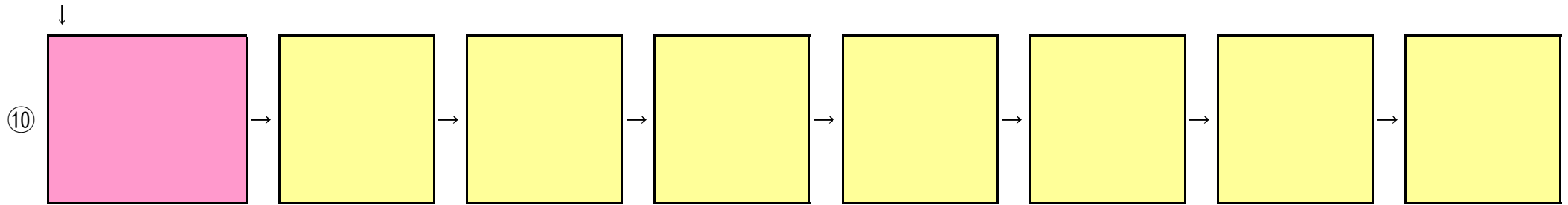
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

必要経費:紙代、コピー代
財源:自治会

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

- ・アンケート回収率、アンケート集計結果
- ・防災訓練や普通救命講習会への参加者の増加

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ・自主防災組織の継続業務を現役員体制で実施する
- ・別に自主防災組織検討委員会を設置し、啓発文書・防災マニュアルの作成などに取り組んでいる
- ・クイズ形式など興味をそそるような紙面づくり
- ・誇大表現は避ける
- ・ほとんどの方は必要とわかっているけど防災の準備をしていない。一歩踏み出すきっかけ、背中を押してあげる手助けとなる作業と理解する

②参考資料等

- ・防災アンケート

※活動指導案作成のための準備物

- ①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

■基礎データ

実践団体名

ネオシティ大和高田自主防災組織

2009－28

① タイトル

「防災マニュアル」と付録として「マンション便利帳」を作成し住民に配付する

② 活動の概要

災害時の自主的な相互扶助の一助になるよう作成する

③ 目標・ねらい

日頃からの準備を怠らない意識づくり
個人の防災への備えの向上

④ 活動で上げることが
できる力・能力

災害時対応力(災害時の適切な行動と配慮すべき事柄)

⑤ 対象者

自主防災組織員、
マンション全世帯(目標)(10年に1度は自主防災組織員をするために、10年間活動を続けるとマンション全世帯が対象者となる)

⑥ 活動・作業形態

勉強会・意見交換会

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

防災マニュアル、マンション便利帳、配布物を作るための材料(地元市町村の防災計画書、管理組合防災計画書、マンションのライフライン説明書、自主防災組織規約、防災訓練時の行動計画書)

⑧ 所要時間

作成・勉強・意見交換に要した時間:会議2H×5(本当はもっとかかっている。各人の宿題やマンション全体の話しあいも含む)

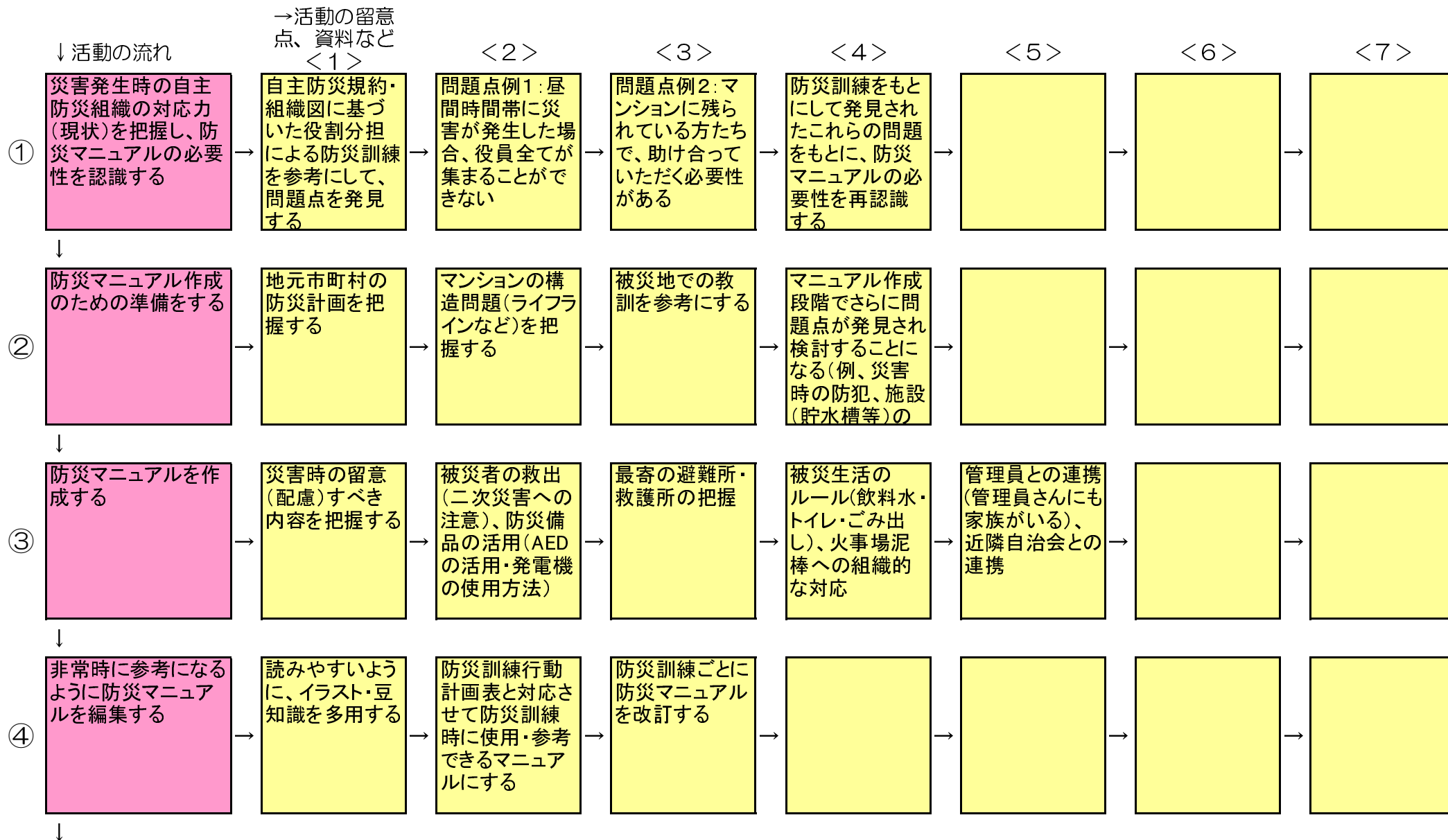
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

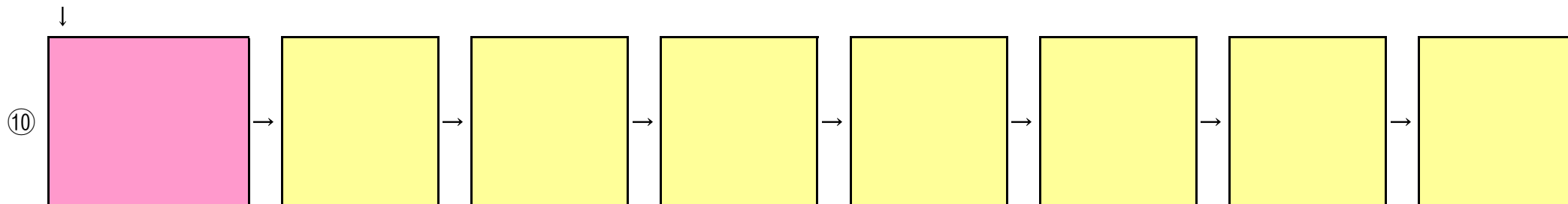
自主防災組織役員、経験者には自主防災組織検討委員になってもらう

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

必要経費:フラットファイル代、紙代、コピー代
財源:自治会

■活動の流れ





■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

②その他の評価

- ・本当に役に立つ防災マニュアルづくり
- ・防災訓練でのスムーズな情報伝達

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ・自主防災組織の継続業務を現役員体制で実施する
- ・別に自主防災組織検討委員会を設置し、啓発文書・防災マニュアルの作成などに取り組んでいる
- ・便利帳を付けることによって、日頃から防災マニュアルを身近なところに備え付けてもらえるようにする。また、読む機会が増える

②参考資料等

- ・防災マニュアル
- ・マンション便利帳

※活動指導案作成のための準備物

- ①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

■基礎データ

実践団体名

ネオシティ大和高田自主防災組織

2009-29

① タイトル

防災備品を整備する

② 活動の概要

備品整備に一貫性がないため、災害時に使用できない備品を所有している現状を把握して、計画性を持った備品整備に取り組む

③ 目標・ねらい

マンション内の各団体(自治会・管理組合・老人会・小中PTA等)がそれぞれ備品を管理・保管しているため、災害時に活用可能なように一元把握する

④ 活動で上げることが
できる力・能力

災害時対応力(救出・搬送・食事、発電・テント・投光器等を用いた対応)

⑤ 対象者

自主防災組織、自治会、管理組合

⑥ 活動・作業形態

各団体の備品台帳から、被災時に活用できる備品を抽出し、一覧表を作成する

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

各団体の備品台帳(品名等がわかりにくいものは写真等を持参)

⑧ 所要時間

自主防災組織の検討委員会における会議2H(本来は役員等で話し合うものだが、必要に応じて検討委員会を立ち上げる)

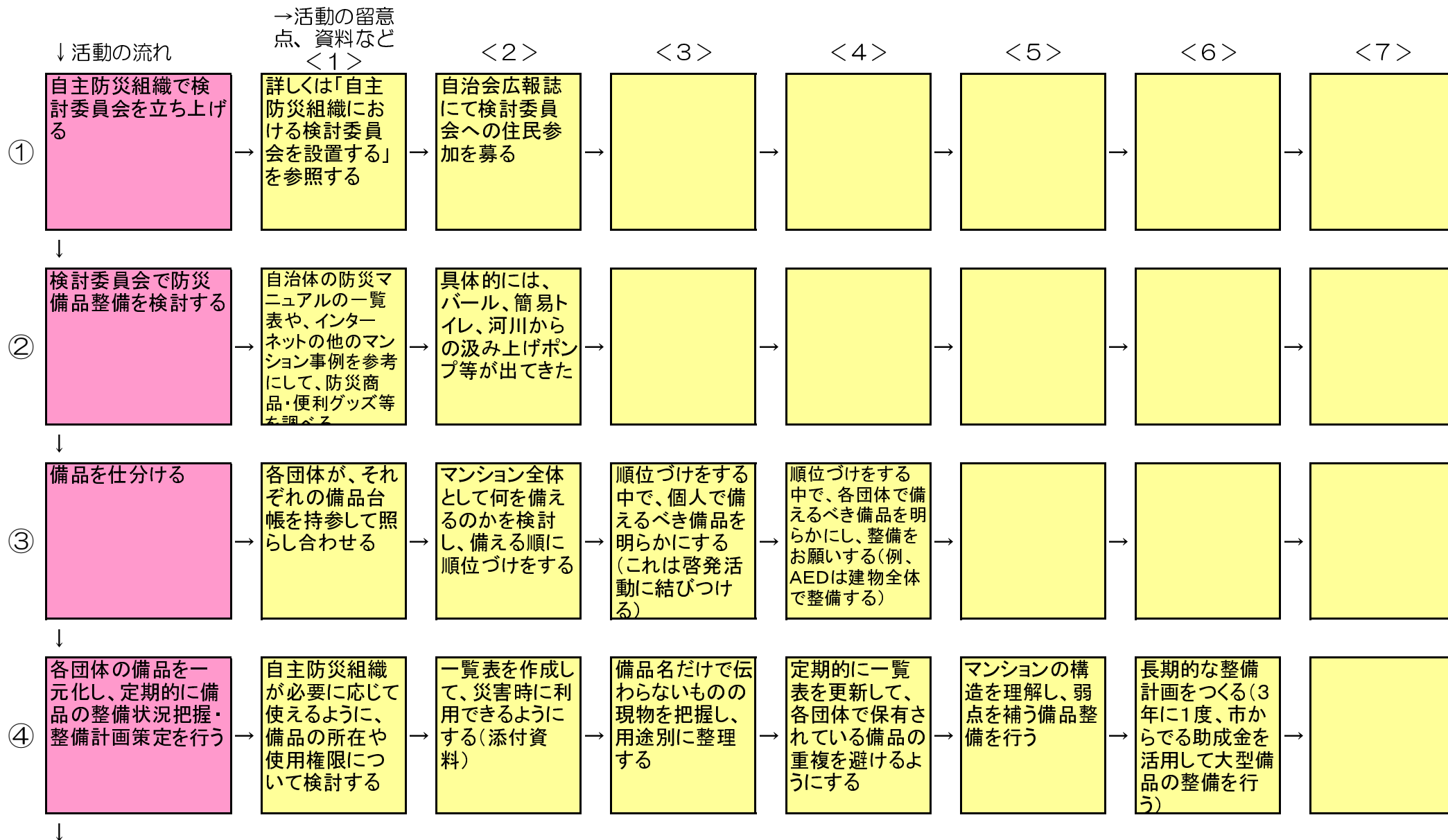
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

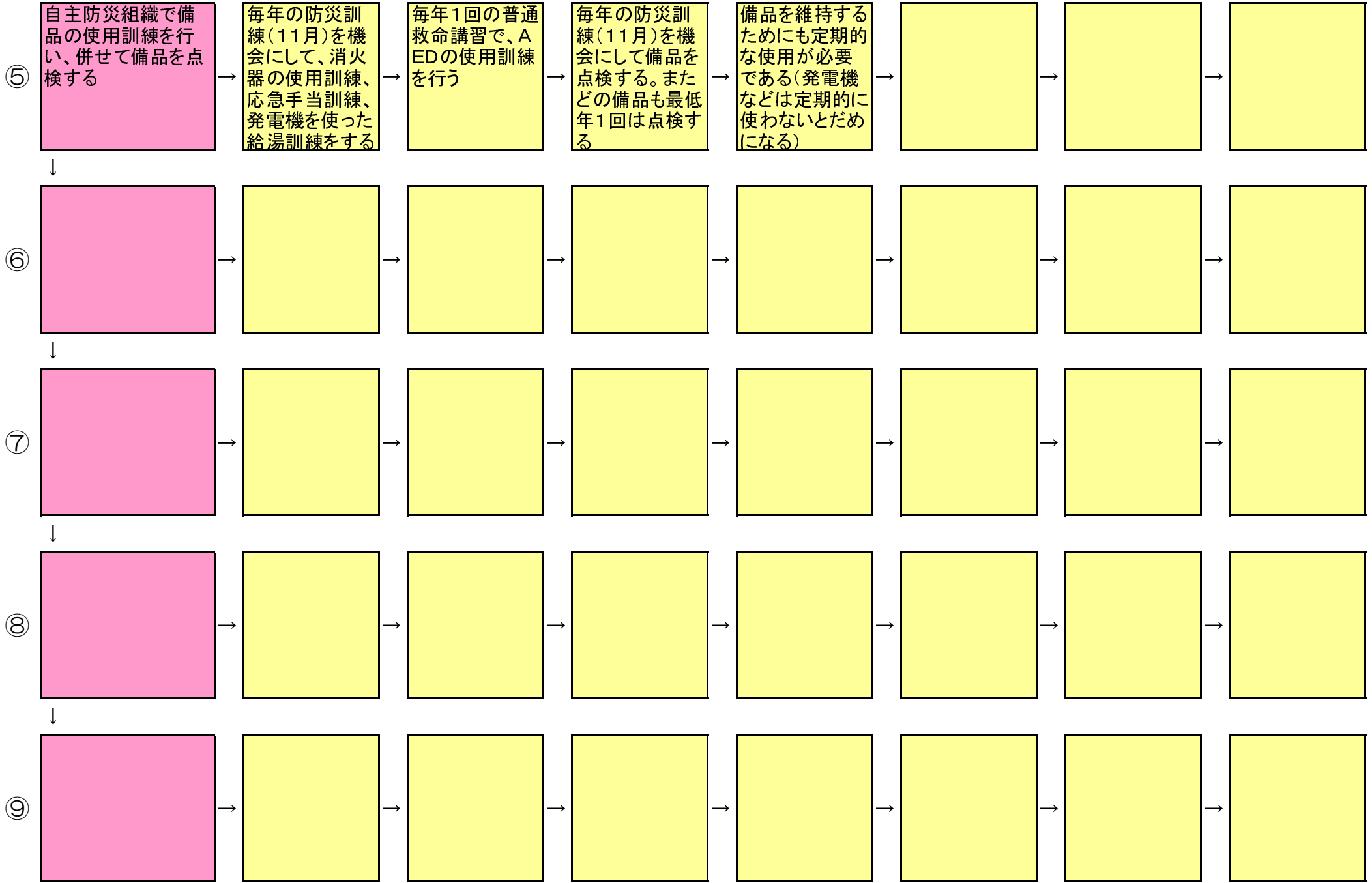
自主防災組織役員、経験者には自主防災組織検討委員になってもらう

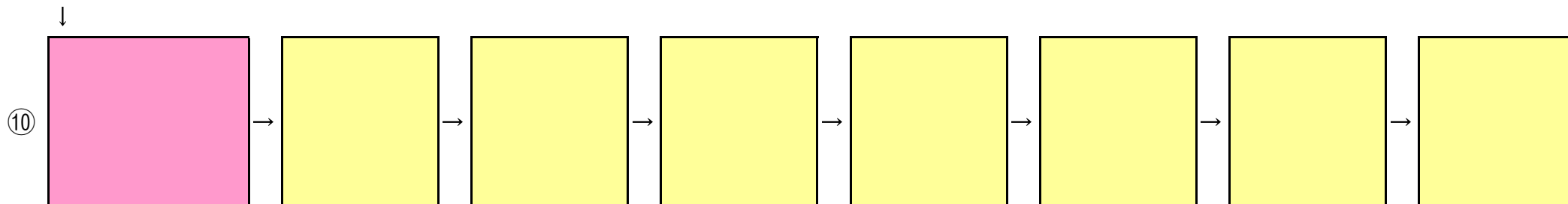
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

必要経費:紙代、コピー代
財源:自治会(新たに購入するものは自治会で予算化する)

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

- ・必要な備品の整備状況(必要数に足りているかどうか)

②その他の評価

- ・限られた予算での充実した備品整備

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

- ・自主防災組織の継続業務を現役員体制で実施する
- ・別に自主防災組織検討委員会を設置し、啓発文書・防災マニュアルの作成などに取り組んでいる
- ・必要に応じて、検討委員会のメンバーを住民から募集している

②参考資料等

- ・備品一覧表
- ・備品を利用した訓練写真

※活動指導案作成のための準備物

- ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

■基礎データ

実践団体名

ネオシティ大和高田自主防災組織

2009－30

① タイトル

マンションにおける体験型防災訓練を実施する

② 活動の概要

防災訓練行動計画表の作成し、防災訓練時に、本部班・情報班・救護救出班・避難誘導班・初期消火班・給食給水班の各班の連携・役割分担を明確にする

③ 目標・ねらい

①防災訓練を訓練のための訓練にしない。一つ一つの行動が意味があることを理解してもらう、
②防災マニュアルを活用し訓練を行う。昼間時間帯の手薄なときマンションに残られている方で対応してもらう際の手助けとなるよう防災マニュアルを整備する

④ 活動で上げることが
できる力・能力

災害時対応力(救出・搬送・食事、発電・テント・投光器等を用いた対応)

⑤ 対象者

自主防災組織員・マンション住民

⑥ 活動・作業形態

消防署(はしご車・ポンプ車・救急車)の協力を得た防災訓練

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

防災マニュアル、自主防災組織規約

⑧ 所要時間

訓練:3時間

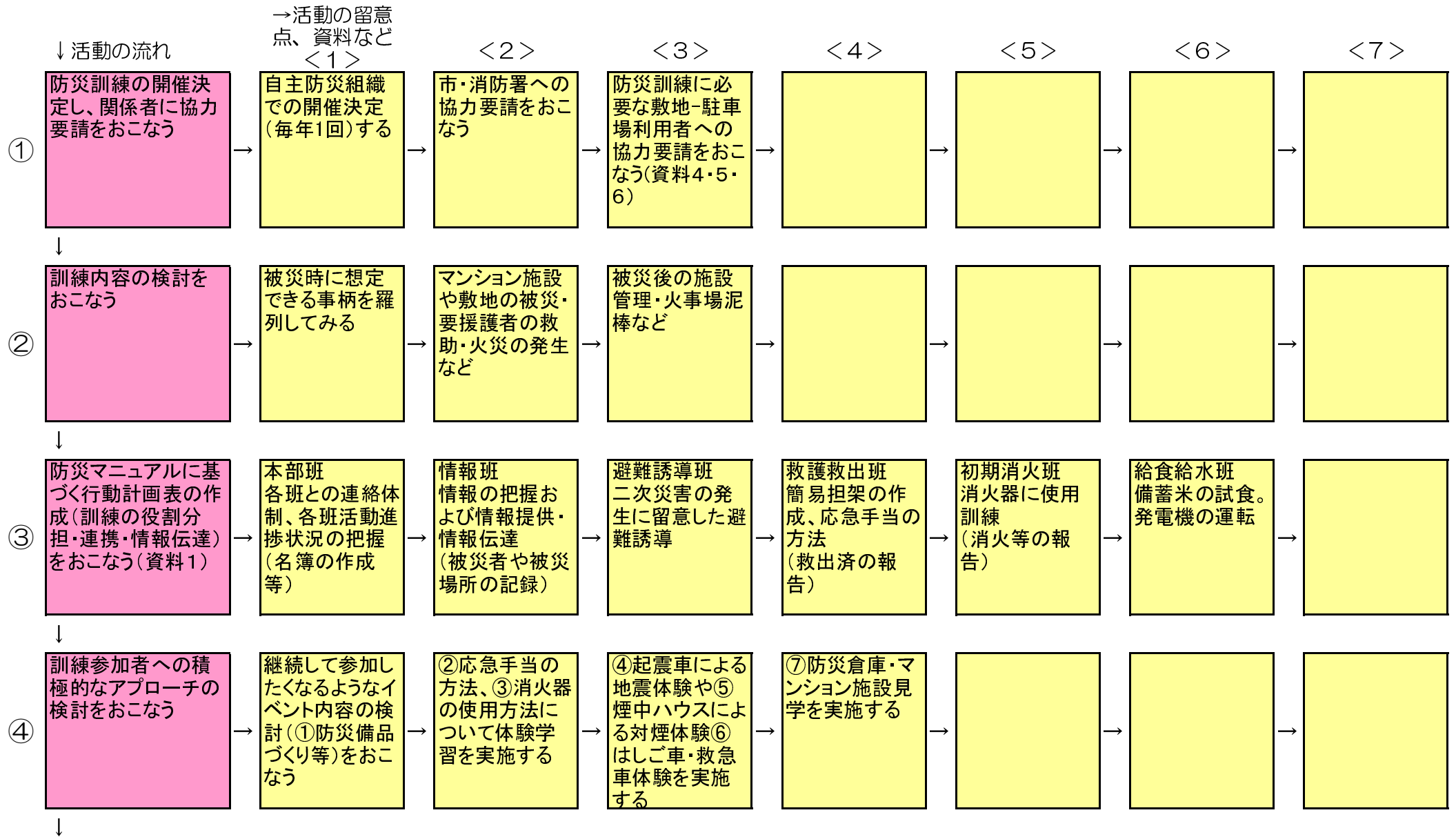
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

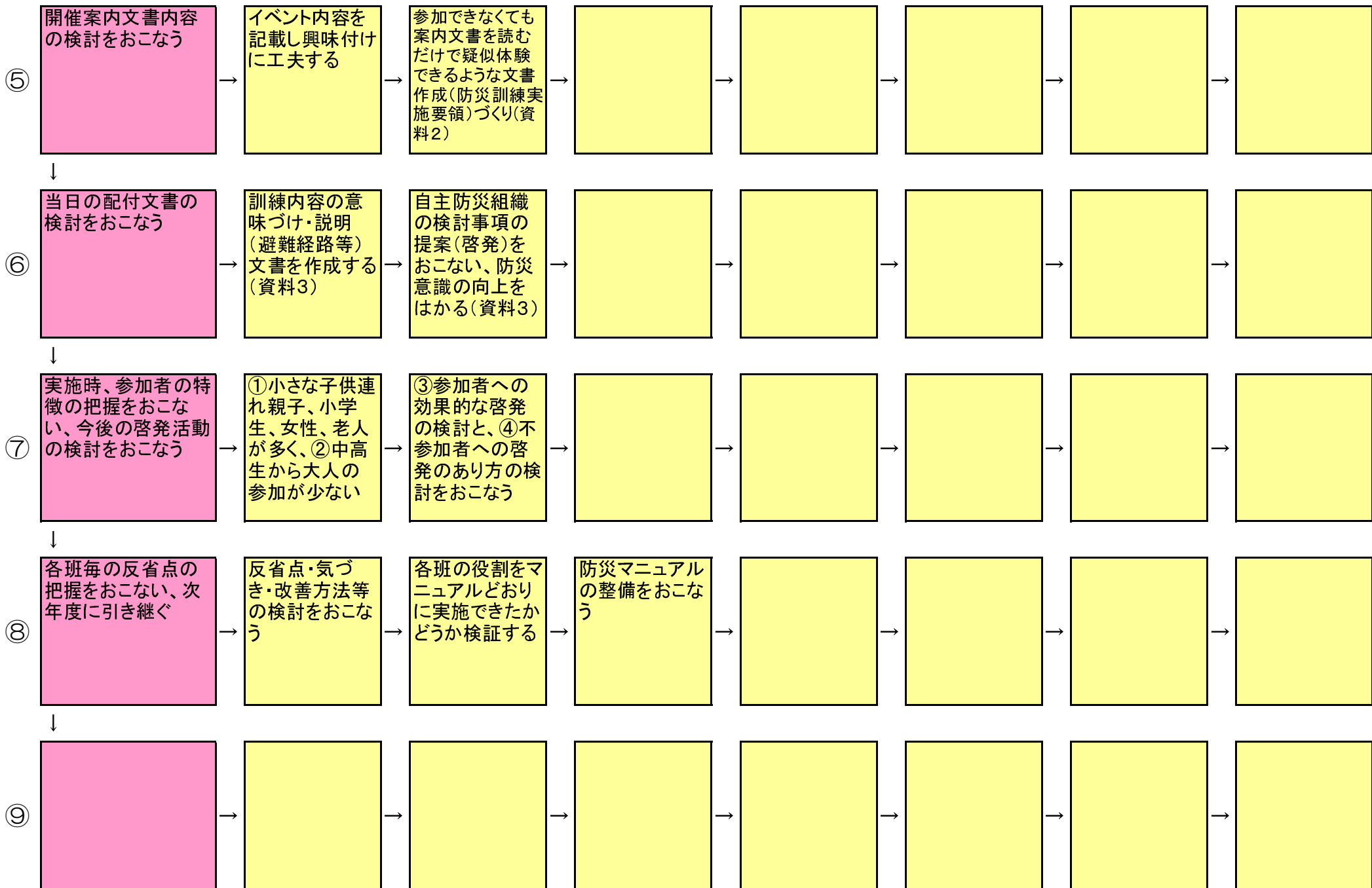
自主防災組織員 約100名

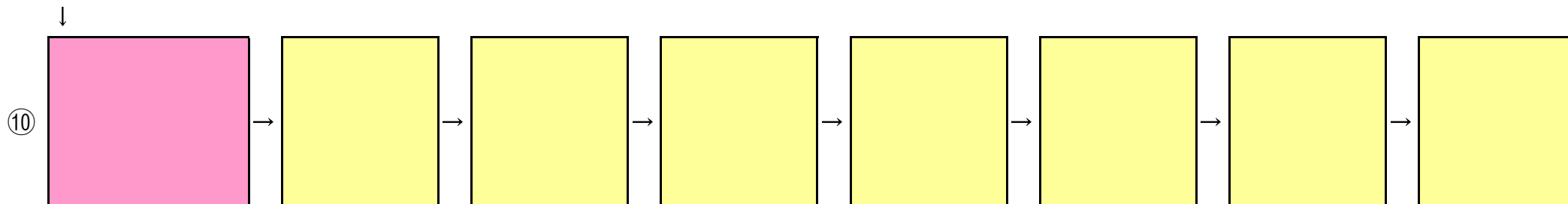
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

必要経費:紙代
財源:自治会

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

- ・防災訓練や普通救命講習会への参加者の増加

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ・自主防災組織の継続業務を現役員体制で実施する
- ・別に自主防災組織検討委員会を設置し、啓発文書・防災マニュアルの作成などに取り組んでいる
- ・年中行事としての定着

②参考資料等

- ・防災訓練行動計画書
- ・防災訓練のお知らせ（防災訓練実施要領）
- ・当日の配付文書（おさらい・意味づけ）
- ・住民への協力依頼文書

※活動指導案作成のための準備物

- ①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

■基礎データ

実践団体名

ネオシティ大和高田自主防災組織

2009-31

① タイトル

自主防災組織における検討委員会を設置する

② 活動の概要

自主防災組織の補完的活動

③ 目標・ねらい

自主防災組織では、役員を1～2年で交代している。その結果、活動内容は必然と前年の踏襲に留まり、活動の発展性が期待できなかった。体制を整備するのか、または活動を側面から補助することを目的に当委員会を設置する

④ 活動で上げることが
できる力・能力

マンション防災力・自主防災組織活動の活性化

⑤ 対象者

自主防災組織員・マンション住民

⑥ 活動・作業形態

月一回(2時間程度)の会議

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

自主防災組織規約

⑧ 所要時間

月一回(各2H)

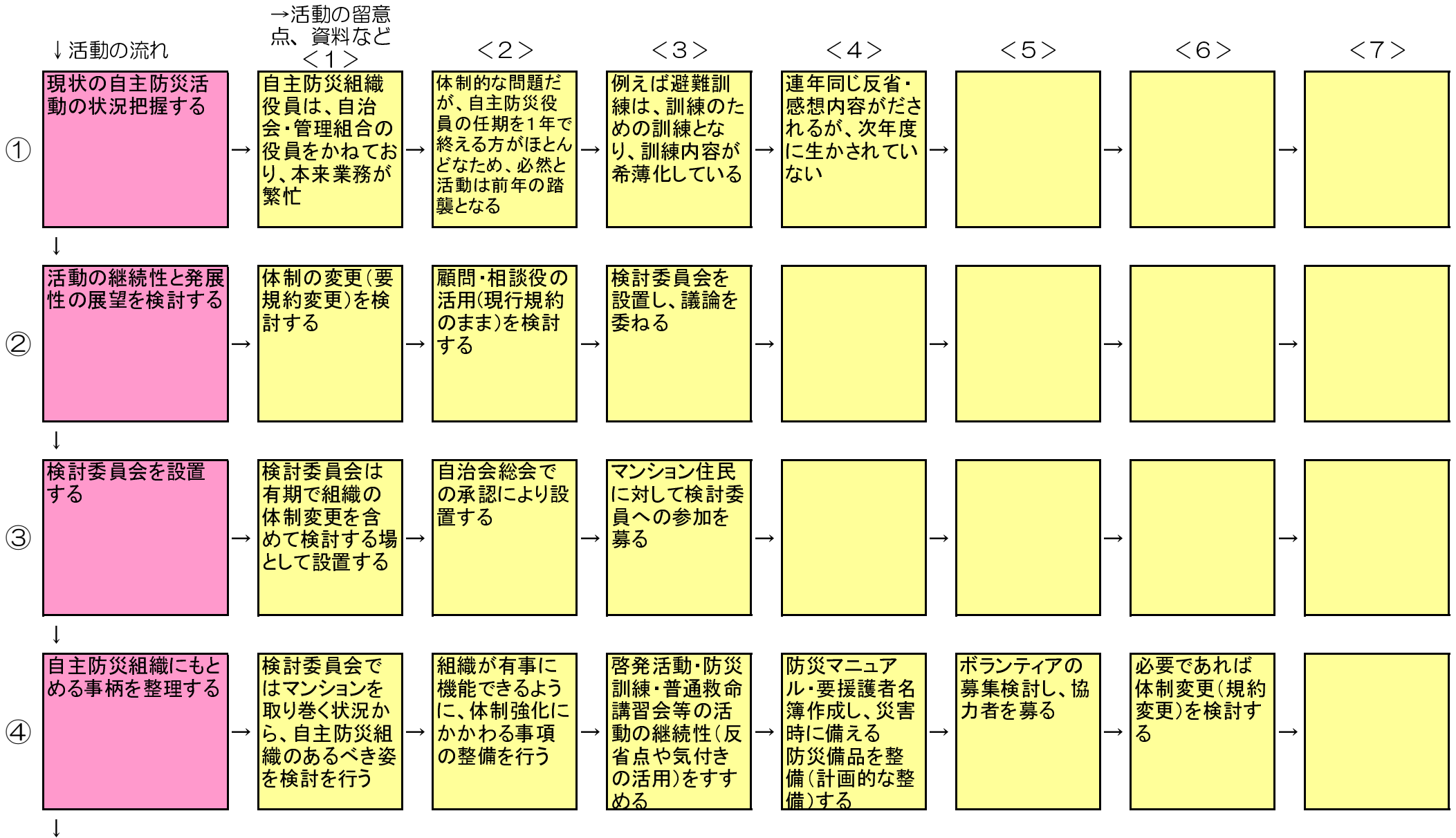
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

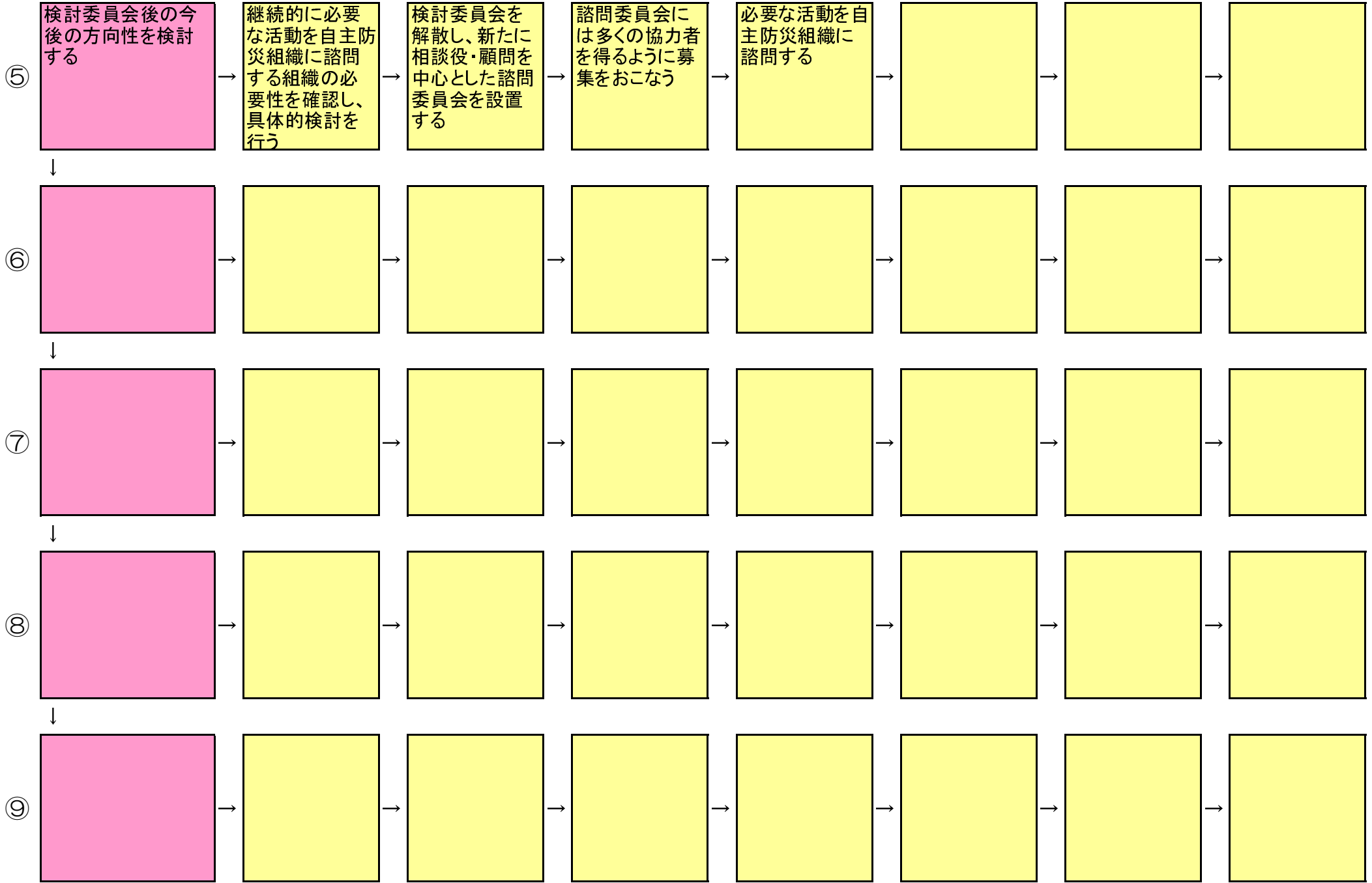
自主防災組織役員、経験者には自主防災組織検討委員になってもらう

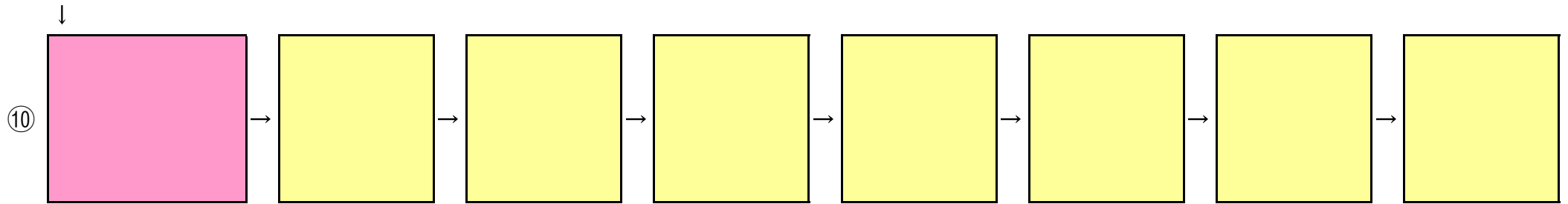
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

必要経費:紙代
財源:自治会

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ・自主防災組織の継続業務を現役員体制で実施する
- ・別に自主防災組織検討委員会を設置し、啓発文書・防災マニュアルの作成などに取り組んでいる

②参考資料等

※活動指導案作成のための準備物

- ①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等